

## 第9回スタッフ研修会報告書(2015年2月)

「いのち」の愛おしさを分かち合う————

自死遺族支援・自助活動と自殺対策のつながり

〔あらし〕

◎自死遺族支援と自死予防・防止を再考する

奈良女子大学名誉教授 清水新二

- 当事者主義と当事者性
- 体験から経験へ
- 封印された死
- 悼む人
- 切り結ぶという考え方
- 自殺と自死～言葉の置き換えでなく視点の切り替えを～

◎パネルディスカッション————自死遺族支援側から見えてくる自殺対策の共通点と相違点

小さな一歩 ネットワーク広島 米山容子 岐阜県千の風の会 木下宏明

日本いのちの電話連盟 岡本正子 自死遺族ケア団体全国ネット 藤井忠幸

- 自死遺族側から自殺予防への働きかけ
- 生きることへの支援
- 自死・自殺の自己責任論の問題
- 自死・自殺への善悪の判断の留保
- 自責感が活動の原点
- なぜシェルターを始めようとしているか
- 何をしていれば自死は防げたか
- いのちの電話の社会的役割
- 生きること悩む人たちの居場所づくりの試み

◎自死遺族支援と自殺対策の繋がりは今後の大きな課題

岐阜県精神保健福祉センター所長・精神科医 丹羽伸也

- 自死遺族の会「千の風の会」について
- 運営に際してのいくつかの工夫
- 遺族たちの居場所づくり
- 行政の立場
- 自死の実態について
- 自死の実態と対策との乖離
- 行政窓口の問題
- 組織間の連携について
- 医療機関を上手に使う

〔体裁〕 A4版 84ページ

〔頒布〕 1,000円(送料別) ご希望の方は → [こちら](#)